

(様式4)



プレスリリース

AITC Press release 2020.10.9

飼料用米新品種 「ゆたかまる」が出願公表 ～「みなゆたか」に替る多収品種～

農林総合研究所

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合は、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、「(地独)青森県産業技術センター」又は、当センターの略称「青森産技」をお使いくださるようお願い申し上げます。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

飼料用米新品種「ゆたかまる」が出願公表

令和2年10月7日、青森県産業技術センター農林総合研究所が開発した中生飼料用米新品種「ゆたかまる」の出願が公表され、官報本紙第347号に告示（農林水産省告示第千九百号）されました。

「ゆたかまる」は、現在作付けされている中生飼料用米品種「みなゆたか」に比較して、粗玄米収量は5%程度多収で、さらに、いもち病抵抗性、耐倒伏性等が改良されています。

令和2年2月に県の飼料作物奨励品種に指定され、7月29日に品種登録出願、10月7日出願公表されました。

「ゆかたまる」という品種名は「家畜が丸々と太り農家が豊かになるように」との願いを込めて命名されました。

種子は令和3年度作付け分から農協、集荷団体等で販売され、「みなゆたか」に替え一般栽培が開始されます。

1 主な品種特性

- (1) 出穂期が「みなゆたか」より2日程度、成熟期が7日程度早く、稈長はやや短い。
- (2) 収量性は「みなゆたか」より6ポイント多収。
- (3) 耐倒伏性は「極強」。いもち病抵抗性は「極強」。
- (4) 玄米品質は腹白、乳白が多く劣り、一般品種とは明らかな識別性がある。



2. 育成経過

- (1) 平成22年に「ふ系222号（ほっかりん）」を母、「うしゆたか」／「青系IL1号」のF1を父として交配し、育成開始。
- (2) 平成28年から「青系201号」の系統番号を付し、所内および現地での栽培試験を開始。
- (3) 令和2年2月に県の飼料作物奨励品種に指定。
- (4) 令和2年7月29日品種登録出願（出願番号第34838号）、10月7日出願公表

3. 特性一覧

項目	ゆたかまる	みなゆたか
出穂期	8月2日	8月4日
成熟期	9月19日	9月26日
耐倒伏性	極強	強
稈長(cm)	84	88
粗玄米重(kg/a)	81.1	76.6
同対標準比(%)	106	(100)
障害型耐冷性	極強9	極強
いもち病抵抗性 葉いもち 穂いもち	極強 極強	やや強 やや強

(注) 平成28～令和元年、農林総研（黒石市、奨励試験）多肥区の結果。障害型耐冷性の「極強9」は「極強」より1ランク強いことを示す。

取材依頼先の詳細

取材依頼先

農林総合研究所 水稲品種開発部

- 住 所 : 黒石市田中82-9
- 連絡先 : Tel 0172-52-4312
Fax 0172-40-4161
- 担当者 : 水稲品種開発部 部長 前田一春 (まえだかずはる)
研究管理員 神田伸一郎 (かんだしんいちろう)



農林総合研究所

本部事務局

至弘前市

至弘前駅

